

沖小だより



令和8年4月第2号
門真市立沖小学校
校長 吉川 茂樹

学校教育目標 「考動」「協創」「継続」～自立した子どもの育成～

離任式 ～「ありがとう」が響いた体育館～

4月10日、体育館に全校児童が集まり、離任式を行いました。

壁を彩る花々の飾りの中、沖小学校を去られた先生方が体育館に入ってくられると、子どもたちの大きな拍手が会場いっぱいに広がりました。

花束を手渡す子どもたちの表情は、少し照れながらも、精一杯の「ありがとう」を伝えようとしていました。先生方も、一人ひとりと向き合い、笑顔で言葉を受け取ってくださいました。



離任された先生方の新しい場所での活躍を、沖小学校みんなで祈っています。

沖小を去られた教職員

橘 朋伸 校長先生（ご退職）

山田 千里 先生（門真市立の小学校へ）

中崎 朝香 先生（門真市立の小学校へ）

北川 一馬 先生（門真市立の小学校へ）

柏木 丈 先生（門真市立の小学校へ）

吉村 成章 先生（門真市立の小学校へ）

廣野 毅 先生（門真市立の小学校へ）

大垣 海知 先生（ご退職）

「ステキな行動」があふれる学校をめざして

先日、東京学芸大学の松山康成准教授をお招きし、教員全員で研修を行いました。

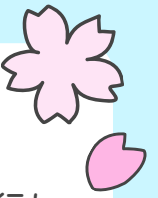
テーマは「ポジティブ行動支援」。子どもたちの良い行動を見つけ、認め、育てることで、学校・学級をより良くしていこうという、科学的な根拠に基づいたアプローチです。

「叱る・注意する」だけでは、子どもは行動を学習しません。むしろ大切なのは、できていることを見逃さず、次もやってみようという気持ちを育てること。先生全員がこの考え方を共有することで、子どもたちへの関わり方がより温かく、より一貫したものになります。

研修後には、先生たちが自然と「では、自分のクラスでこうしてみよう」と語り合う姿がありました。こうした先生たちの姿勢こそが、子どもたちにとっての一番の環境です。

今後も松山先生には定期的にお越しいただく予定です。「ステキな行動」があふれる学校をめざして、チームで取り組んでまいります。





子ども主体の取り組み ～1年生を迎える会・クラブプレゼン～

4月17日（金）、沖小学校では午前と午後に、子どもたちが主役となる二つの活動が行われます。どちらも保護者の皆様にご参観いただけます。ぜひ、子どもたちの姿を直接ご覧ください。

■ 1年生を迎える会（1時間目 8：45～）

「1年生が喜ぶ会にしたい」。そんな思いをもった子どもたちがプロジェクトチームを立ち上げ、自分たちで企画・準備を進めてきました。楽しい劇、ゲーム、そして1年生へのプレゼント——すべて、子どもたちのアイデアから生まれたものです。

誰かに言われたからではなく、「やりたい」という気持ちから動き出した子どもたち。その姿そのものが、学校が大切にしたい力のあらわれだと感じています。

■ クラブプレゼンテーション（5・6時間目 13：30～）

「こんなクラブがあったらいい」。6年生が自分たちでクラブを企画し、4・5年生に向けてプレゼンテーションを行います。4・5年生は話を聞き、自分で入りたいクラブを選びます。

「考えて、選ぶ」。こうした自己選択・自己決定の経験は、子どもたちが自分の人生を主体的に切り開いていく力につながっていきます。また、6年生が企画・発信し、4・5年生がそれに応える縦のつながりも、この活動の大きな魅力です。

■ 保護者の皆様へ

どちらの活動も、ご都合のつく方はぜひ学校へ足をお運びください。大人が段取りを整えて子どもたちをはめ込む「行事」ではありません。子どもたちが「どうしたいか」を出発点に動いてきた活動です。うまくいかないこともあるかもしれません。でも、そこで考え、工夫し、やり遂げる経験こそが、子どもたちを育てると信じています。

子どもたちの真剣な表情や、仲間と知恵を出し合う姿を、ぜひ一緒にご覧いただければ幸いです。今年度も、子どもたちの「やってみたい」を大切にしたい学校づくりを進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

